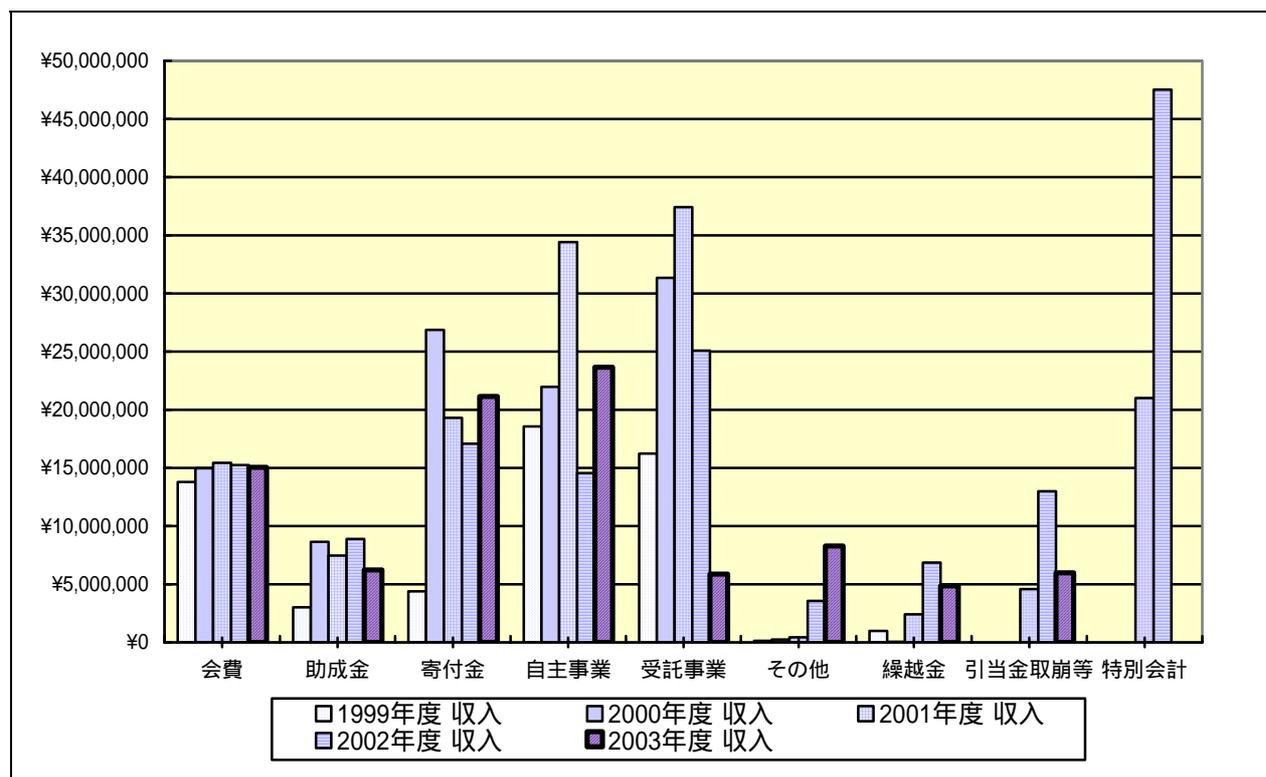


(1) 収入科目別の比較

2003年度は、会費、助成、寄付金とともにほぼ例年なみといったところであるが、受託事業収入は急激な落ち込みが目立っている。意識的に受託せず事業を展開した結果である。一方で、昨年(2002年度)落ち込んでいた自主事業収入を多少伸ばすことができた。

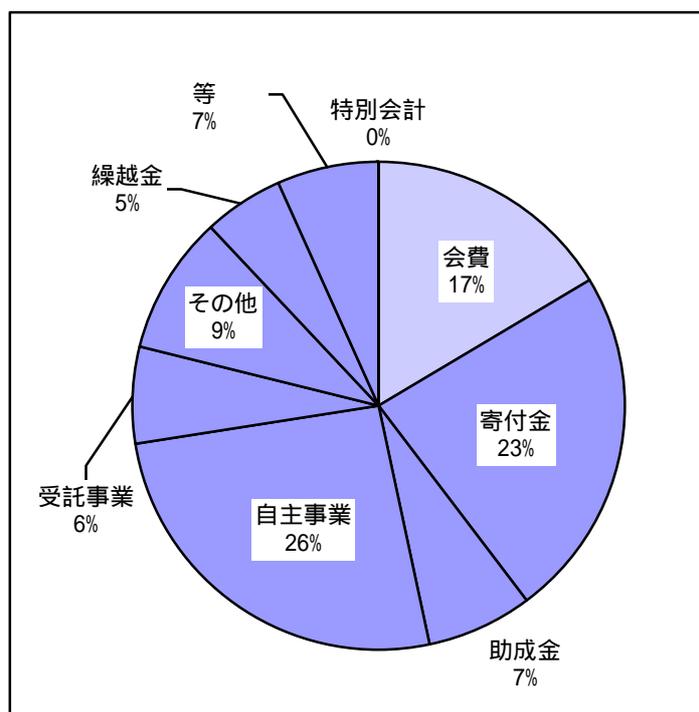
今後は支援性の資金(会費、寄付、助成金)をいかに伸ばすかが課題である。同時に自主事業についても力を注ぐ必要がある。



(2) 2003年度科目別の総収入割合

全収入の科目別のバランスを比較すると、自主事業、寄付金、会費の順になり、支援性の資金割合が高く、組織としては好ましい形になっている。

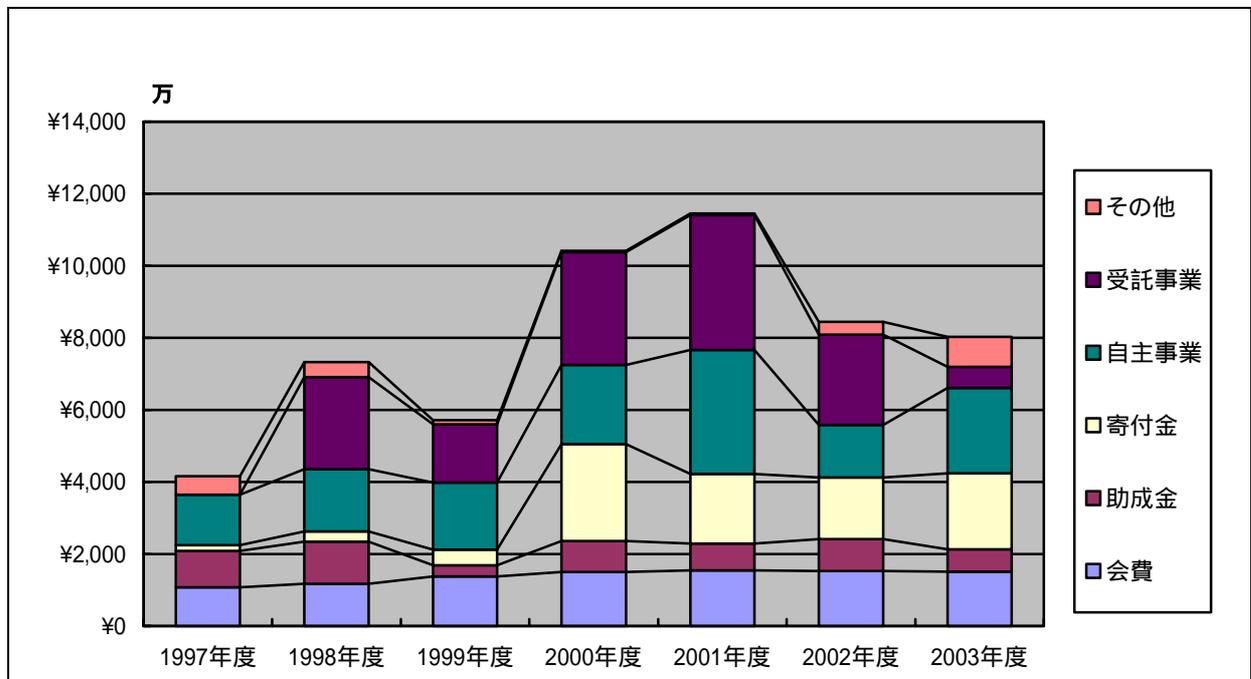
科目	金額(円)
会費	15,045,000
寄付金	21,148,742
助成金	6,235,450
自主事業	23,643,174
受託事業	5,878,853
その他	8,301,642
前年度繰越金	4,859,684
引当金取崩等	6,000,000
特別会計	0
合計	91,112,545



(3) 7年間の収入の増減推移

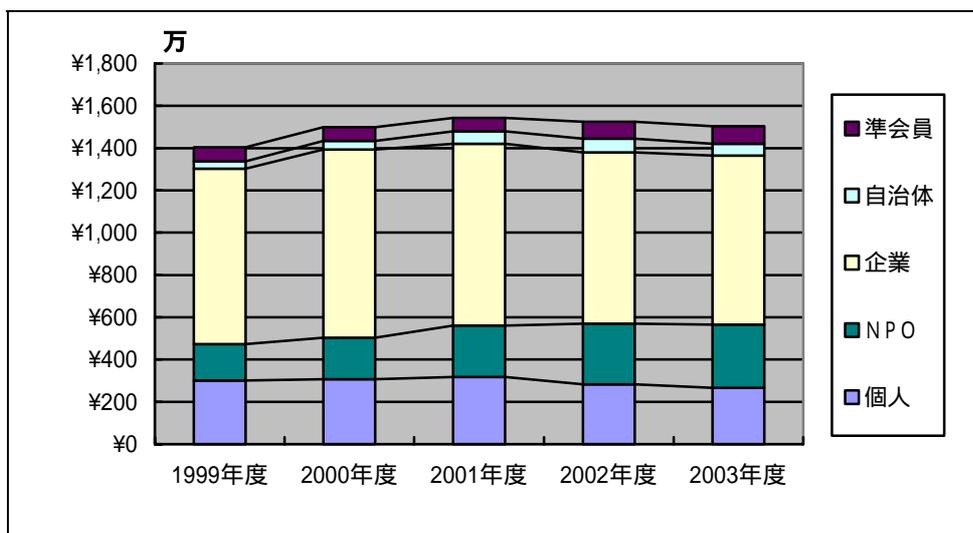
2002年度から意識的に減少させ、2003年度は大きく減少した。一方で自主事業による収入は増加している。2003年度は他の年度と比較すると、支援型の資金と事業型の資金の割合が1:1となっており、好ましい財源バランスとなっている。

なお、その他の収入が大きくなっているのは、「市民社会創造ファンド」への職員の出向ならびに事業サポートの経費である。



(4) 5年間の会費の推移 (会員種別による推移)

各種会費の推移については、低い伸び率ながらも毎年増加傾向にあったが、2002年度より若干減少している。毎年入会者は増加しているものの、実際に会費の伸び悩みがある理由として、退会・未納者の増加が原因となっている。



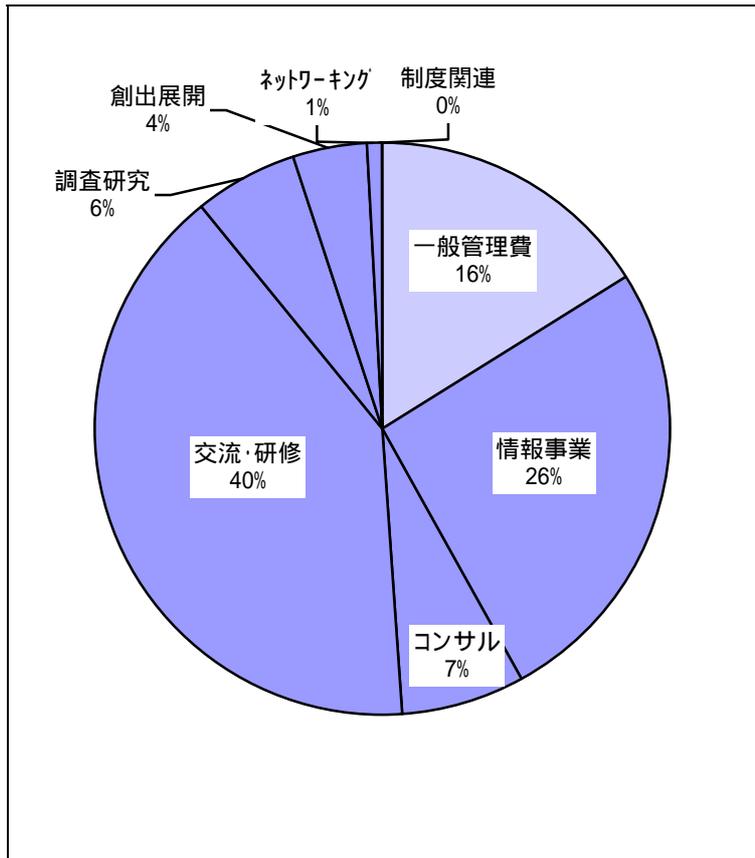
(5) 2002年度との支出割合の比較

2002年度の支出の割合

<一般会計支出のみの割合>

2002年度から新たな科目として創出展開事業、制度関連事業の2つを追加(詳細は事業報告参照)。NPO法人データベース「NPO広場」の運営や新たに英語のWebサイトの立ち上げで情報機能の支出割合が増加した。

項目	金額(円)
一般管理費	14,983,775
情報事業	23,992,734
コンサル	6,534,937
交流・研修	37,481,858
調査研究	5,427,085
創出展開	3,793,859
ネットワーキング	792,197
制度関連	120,995
合計	93,127,440



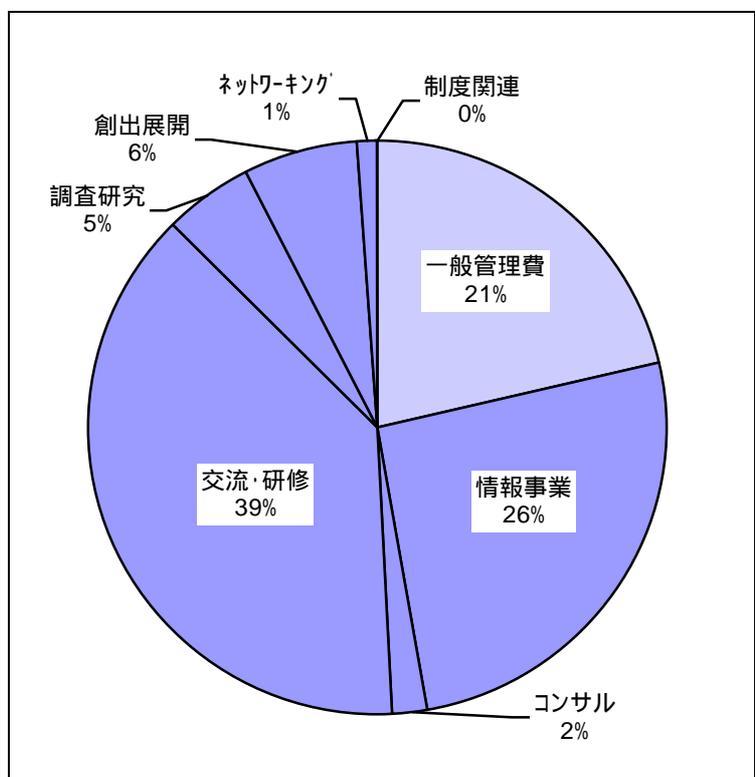
人件費は、各事業に振り分けて支出。

2003年度の支出の割合

<一般会計支出のみの割合>

2002年度と大きな違いはないが、一般管理費の支出割合が若干高くなった。これは事務所移転に伴う経費支出があったことと、他の事業経費の支出を抑えたのが理由である。

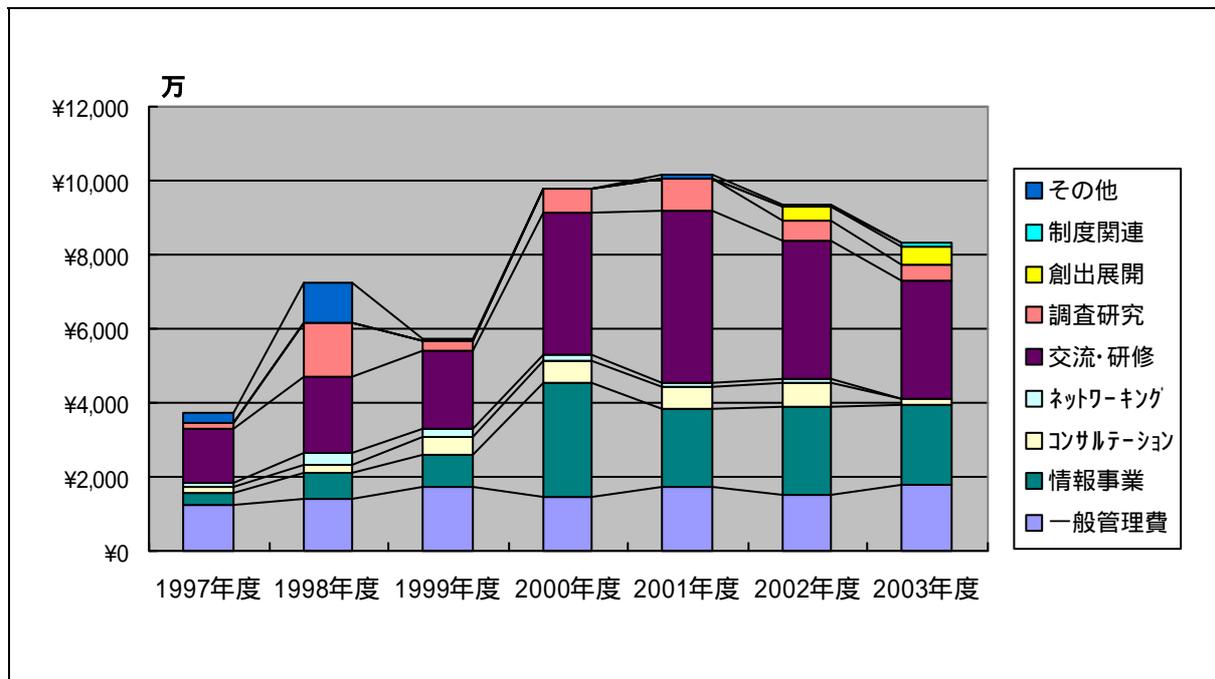
項目	金額(円)
一般管理費	17,728,740
情報事業	21,550,345
コンサル	1,613,029
交流・研修	31,749,556
調査・研究	4,319,589
創出展開	5,170,799
ネットワーキング	873,408
制度関連	72,330
合計	83,077,796



人件費は、各事業に振り分けて支出。

(6) 7年間の支出の推移 <一般会計支出のみの割合>

1997年度から年々事業支出が拡大していたが、2002年度に引き続き2003年度も減少した。この理由は職員の退職に伴う支出減であり、その他は概ね2002年度と同じ推移を示している。



(7) 一般管理費の推移

1999年度までの3年間は、事業の拡大と共に一般管理費の割合が増加したが、2000年度より事業運営に関する人件費と経費を各事業に振り分けたため、一般管理費が減少している。2001年度および2003年度は事務所移転に伴い事務局運営費が増加した。

